

継続リハビリ のための活動

病棟継続リハビリチーム



背景と課題

項目	現状	課題
テンプレート運用	MSICU/CICUのみ	一般病棟では未使用
リハビリ情報	ICU退室時の実施内容が共有されにくい	転棟後に引き継ぎにくい
目標設定	ICUで短期目標中心	長期目標が不明瞭 一般病棟との連携不足



目的：リハビリの継続体制

共有

目標の可視化でスムーズな引き継ぎを実現

離床

継続的な離床促進で早期退院を目指す

予防

PICS予防に向けた取り組みを強化する

導入範囲と展望

導入開始



MSICU・CICUでの
導入開始を実施

拡大展開



HCU・6A・7Aへの
拡大を計画中

救命センター



救命センターでの
導入を検討

全病棟運用



全病棟での
システム運用

多職種連携による 目標設定の強化と共有

長期目標

多職種カンファレンスでは、長期目標設定を検討。各専門職が集まり、患者に最適なリハビリ計画を共有し、達成目標を明確にする。

看護師の役割

創痛や安静度、退院支援項目を共有し、リハビリの効果を高めるための重要な情報を共有。

PTの評価

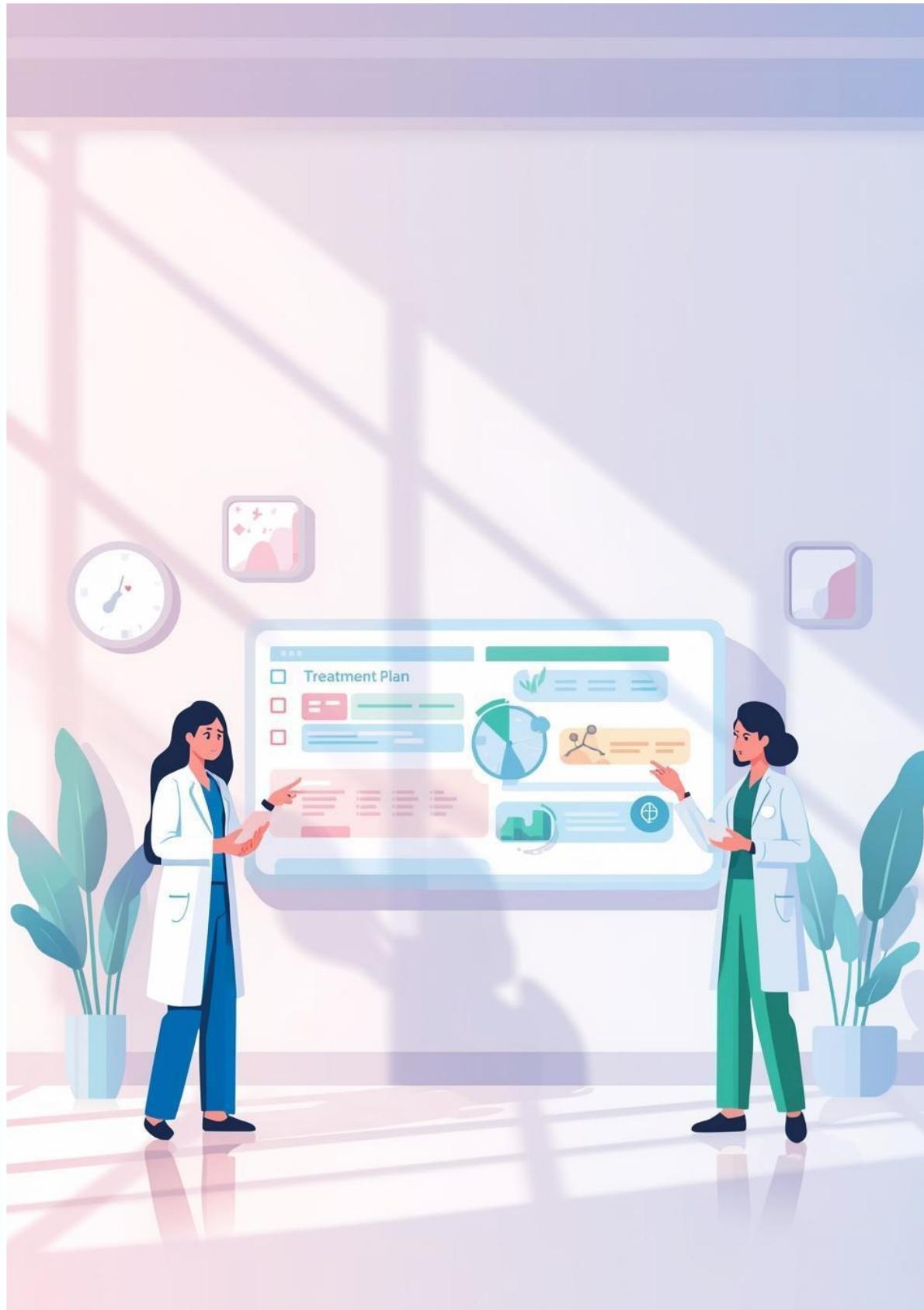
週末や退室時までのリハビリ目標を評価し、進捗をモニタリングし、不在時も同様のリハビリを行えるように計画作成。

上記の内容を患者掲示板の治療方針に記載

記録可視化の設定

情報の埋没防止と連携強化

- ・情報収集で必ず目にする場所に記載
→**患者掲示板の「治療方針」**に記載
- ・定期的な更新と確認



一般病棟との 協働と連携

- ・目的・意義を共有し、転棟後も自然に活用できる環境を整備
- ・病棟スタッフの意見を反映しながら、継続性・利便性を確認



評価と展望



今後の評価項目

リハビリ実施率、自宅退院率、在院
日数を明確にし、評価分析を行う